

139 アカリダニ症〔届〕

担当	検 査 チ ャ ー ト
家畜保健衛生所	<pre> graph TD     A["(1) 疫学調査"] --- B["(3) 簡易寄生虫検査"]     C["(2) 臨床検査"] --- B     B -- "(病蜂の胸部・気管)" --&gt; B     B -- "(+)" --&gt; D["(+)"]     B -- "(-)" --&gt; E["(-)"]     </pre>
病性鑑定施設	
判定・結果	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">↓ (+)</div> <div style="text-align: center;">↓ (-)</div> </div>
最終判定	疫学調査、臨床検査の結果を基に簡易寄生虫検査の結果により本病とする。
その他	

○ 病原体: *Acarapis woodi*

(1) 疫学調査

- ① 冬期から早春に発生
- ② 成蜂(8日齢までの若齢成蜂、女王蜂)のみが罹病
- ③ 蜂の移動、分蜂
- ④ 新しい女王蜂の導入

(2) 臨床検査

- ① 巣箱内や出入口の異常蜂や飛翔力のない蜂の増加
- ② 無症状な場合が多い。
- ③ 寿命短縮

(3) 簡易寄生虫検査

- ① 病蜂の気管内を直接鏡検してダニ(tracheal mite)を検出する。ダニに寄生されている気管には黒い斑点(メラニン色素の沈着)があり、重症の場合は黒色化している。スライドグラス上で気管を切開してダニを観察する。
- ② 病蜂の胸部を粉碎して遠心分離し、沈渣を直接鏡検してダニを検出する。
- ③ アカリンダニの鑑別:きわめて小さく、肉眼で観察することはできない。胴体部は卵形。体長は雌成ダニで約150 $\mu$ m、体幅は約80 $\mu$ m、雄ではそれぞれ約130 $\mu$ m、約70 $\mu$ m